

令和5年度 葛飾区学童クラブ待機児童対策計画

令和4年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

196人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

葛飾区内の金町・新小岩・新宿・亀有・新宿等、主にJR沿線の乗降客の多い駅周辺について、大規模再開発に伴いマンションの建設が進み、そこに流入してきた居住者に、共働きの世帯が多くなっていると見込んでいる。特に金町などは今後さらに900戸規模のマンション建設予定があり、小学校児童数そのものが大幅に増える予定である。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

基本的に学校改築の際、校内に学童保育を整備する方針で進めてきたが、今後はこれに加え、近隣の適切な場所に学童保育クラブを整備する。また、待機児ゼロを目指し待機児童の多い地域等を中心に、制度上の学童保育ではない、委託による放課後居場所「かつしかプラス」モデル実施を行う。

(2) 具体策

- ・金町には、補正予算により令和5年度中に新規学童保育クラブを開設した。賃貸物件を社会福祉法人が賃借、整備し、賃借料（敷金除く）、工事費、運営費を補助。
- ・新小岩には、令和6年度当初予算に計上、夏までに新規学童保育クラブを開設する。賃貸物件を社会福祉法人が賃借、整備し、賃借料（敷金除く）、工事費、運営費を補助。
- ・学校教室等諸室の使用していない時間帯を活用（一時的シェア）し、学童保育運営法人等に委託して当該学童待機児対象の放課後見守り事業「かつしかプラス」を実施する。
(R6実施校：葛飾小・新宿小・中之台小・中青戸小)
- ・「わくわくチャレンジ広場」として地域住民による見守りを行っているが、サポートスタッフが集まらない地域もあり一部委託を入れている。
- ・現在、日常生活において様々な事情により一時的に保育が必要となった未就学児の保護者を対象として、ベビーシッターの利用に係る利用料の一部を助成するベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）を実施しているが、「学童保育クラブへの入会申請を行い、不承認となっている小学1年生から3年生までの児童の保護者」も助成対象に加える。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

- ・地域特性や地域住民、学校の個別の事情に応じた待機児解消策の展開
- ・法人の人員確保や運営の実情、地域協力の状況に応じた対策

4 これまでの推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生児童数	20,322	20,542	20,617	20,630	20,611
増減	—	220	75	13	▲19
登録児童数	4,457	4,613	4,745	4,775	4,694
増減	—	156	132	30	▲81
待機児童数	158	218	190	115	225
増減	—	60	▲28	▲75	110

5 今後の見込

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
小学生児童数	20,459	20,351	20,351	
増減	-152	-108	0	
登録児童数	4,785	4,871	4,849	
増減	91	86	(22)	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)		・金町賃貸物件改修工事による新規学童保育クラブの設置 ・夏休み期間の夏季一時学童保育の実施	・新小岩賃貸物件改修工事による新規学童保育クラブの設置 ・空き教室等活用による放課後居場所「かつしかプラス」4校での実施 ・夏休み期間の夏季一時学童保育クラブの実施	
待機児童数	196	328	0	
増減	▲29	132	▲328	